

# 夢 塾 だ よ り

## ～ センター試験 ～ (第7号)

平成 30 年 1 月 20 日



大学入試センター試験が先日終了しました。うまくいった人もそうではなかった人も、勝負は下駄を履くまで分かりませんから、センター試験の結果だけで一喜一憂せず、今まで以上の気力で次の試験に挑みましょう。夢塾の生徒たち7名が受検しましたが、まずまずの結果でした。二次試験も抜かりなく、全力で取り組むことを期待します。

センター試験は時間との勝負ですので、運・不運はつきまといまいます。受験生は、猛烈な嵐の中を激しい風雨にさらされ、目的地を目指し漕ぎ出す船人のようです。心拍数も高揚している中での決戦です。経験なされた方も多いことでしょう。私もセンター試験には苦しみました。東京での浪人生活。こな雪降る中、武蔵小金井のセンター試験会場に向かっていきます。道路事情に疎い中、下宿先から試験場までにかかる時間を完全に読み違え、余裕をもって会場入りするはずが、1時間目の国語に遅刻。心臓が飛び出て、国語はさんざん。それが響いて他の教科も振るわず見事に沈没。・・・当時、『天中殺』という言葉がはやっていましたがそれでした。目指した大学には一歩及ばず、いや二歩及ばず不合格でした。

それから歳月は流れ、昭和から平成になりました。私の『天中殺』も開け、平成は、いい時代になったのです。平成元年に英検2級を取得。平成2年に教員採用試験に一発合格。(既に35歳)・・・晴れて平成男になりました。昭和は、いろいろありました。15～16歳は、兵庫県で約一年半、闘病生活をしました。人にならない経験をたくさんしました。辛酸をなめました。お陰で今があると思います。

受験でいい結果が出せなかったとして、そのときは落ち込みますが、すべてその後の自分に生かせばいいのです。苦しい経験の積み重ねこそが未来を切り開く鍵です。「若いときの苦労は買ってでもしなさい」といいますよね。逃げずに、めげずに、諦めずに目的地を目指しましょう。「人間万事、塞翁(さいおう)が馬」です。